

令和7年9月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字齊藤字緑223
(0587) 93-7833

『夏祭り』

暑い日が続く中、夏祭りを開催致しました。お菓子釣りや輪投げ、焼きそばやからあげ、鉄板焼き等、各種屋台も出店し楽しい一時を過ごせました。

お菓子の袋を開けるとそこには昔懐かしいお菓子が！皆さんで昔話をしながらおいしく頂きました。

祭りの最後に炭坑節を踊って祭りの雰囲気を出そうとしたところ、皆さん疲れとお腹がいっぱいで、重い腰が上がらず(笑)。次の機会では、皆さん揃って踊りまで楽しめるといいですね。



『暑い中お疲れ様でございました。』

とある日、いつも口数の少ない利用者さんがポロっと「アイスが食べたい...」と。それなら今すぐ行こう！ということで、その利用者さんと車で近くのドラッグストアへ。普段と打って変わって、道中や店内では「暑いねえ」「こんなところ出来たんだね」「店内は広くていろいろ売っているね」等、とても饒舌。こんなにお話されるんだなあと感じたほどでした。

アイスを買って施設に戻り「みんなの分も買って来たよ！」と話される姿は、どこか誇らしげに感じました。暑い中、お疲れ様でございました。



『お手伝い』

「兄ちゃんにはかわいそうだわ！やったるわ！」

「女の人はいないの？こんな事やらせて！」

男性スタッフが洗濯物をたたんだり、食器を拭いたり、調理のため台所に立つと、いつもこのような言葉をかけて下さいます。流石は昭和の女、昭和の価値観全開です。今は令和ですが、ここはしっかりと乗っかり、色々家事を手伝ってもらいます。いつまでも家事仕事出来る様、元気でいてくださいね！

え？私ですか？私はもうしばらく皆さんに甘えさせて頂きます。笑



『気持ちに寄り添う対応を』

バラエティー豊かな職員の中でもひと際、能力を発揮する職員がいます。介護の世界では、介護をする側とされる側に別れてしまいがちですが、その職員は自然と利用者を巻き込み、家事仕事を皆でしたり歌を歌ったりと過ごしています。そう、まるで近所のお年寄りに接するように...。昔の田舎の風景が浮かびます。ここは「はなえくぼ」じゃなかったかな？と、錯覚を覚えることもしばしば。

その職員が夜勤だと、どこことなく利用者さんの夜は遅く、また、朝は早い気がします。利用者さんも分かっているのか、困り事、お願い事があると、このスタッフをさがしお話しされます。

このスタッフは、自然とそれが出来ているため利用者の皆さんも安心し、穏やかな時間が流れているのだと思います。また、誰よりも利用者さんの事を知る事が出来、些細な変化も見逃さないのでしょう。

私はこの職員をととても尊敬しています。面と向かって話しをするのは恥ずかしいため、この場を借りて...。

次回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小杵町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています